



自民議連・県政レポート

広島県議会議員

伊藤まゆみ

安芸郡版

9月定例会：安芸郡4町の災害復旧について問う！

～被災された方が一日も早く普通の生活に戻れるように！！～

ソフト対策

- * 「罹災証明の認定基準見直し」と「被災者生活再建支援金の半壊・地盤被害世帯などへの適用拡大」!!
- * 二重ローンや借地借家、隣地からの土砂がけ崩れや境界不明など法的支援の実施!



【大原ハイツ】



【上藤】土石流で巨木が橋にひっかり洪水が発生



小此木防災担当大臣(国)・知事(県)へ要望

ハード対策

- * 砂防治山・河川・急傾斜の緊急的な災害復旧事業を実施します！（来年度末まで～3ケ年間）
- * 「防災重点ため池」へ指定と、利用していない危険なため池の廃止埋立て！
- * 小屋浦の復興まちづくり！

平成30年7月豪雨 坂町小屋浦【砂防ダム整備計画状況】 広島県



小屋浦の都市計画と10基の壊堤



海田町敵壊堤



「時差災害」が発生した、みくまり・榎川に監視カメラ設置



避難所へペットも一緒に同行同伴避難を実現！

《平成30年8月・9月補正予算のポイント》

<8月補正予算規模>

<9月補正予算規模(専決処分含む)>

《総額》

過去に類を見ない規模

1,325億円 + 742億円 = 2,067億円

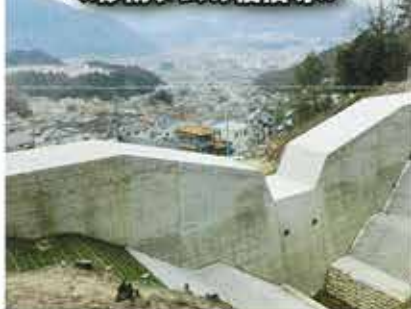
- ◆7月豪雨災害に伴い、緊急対応が必要な応急対策、被災者支援、地域経済の再生、災害復旧や公共土木施設の強靱化等に取り組みます。
- ◆『ひろしま未来チャレンジビジョン』の目指す姿の実現に向けて、その原動力となる取り組みを、時機を逃さず実施します。

平成30年8月・9月補正予算等の概要

(1) 7月豪雨災害に係る対策の実施 【2,001億円】(特別会計等を含む。)

- 応急対策【138億円】** ～避難所設置、応急仮設住宅供与、みなし仮設住宅の提供 など
- 安心を共に支え合う暮らしの創生【49億円】**
～地域支え合いセンター等による包括的な生活支援、児童生徒の心のケア、災害廃棄物の処理対策 など
- 未来に挑戦する産業基盤の創生【465億円】**
～被災企業の早期再生や農林水産業、観光産業・ひろしまブランドの復興推進 など
- 将来に向けた強靱なインフラの創生【1,348億円】**
～改良復旧の積極的な活用による公共土木施設等の強靱化や河道の浚渫、ため池の総合対策 など
- 新たな防災対策を支える人の創生など【1億円】** ～適切な避難行動の実践方策の検討 など

《砂防ダムの復旧等》



《応急仮設住宅の設置》



《河川の改修等》



(2) ひろしま未来チャレンジビジョンの推進 【66億円】

- イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化【11億円】** ～産学官連携によるデジタル化の推進
- ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策【17億円】** ～ブロック塀等の緊急安全対策
- その他【38億円】** ～県立広島大学の改革に向けた調査・検討、旧三江線沿線地域の活性化支援やPCB廃棄物の適正な処理 など

会派のメンバー紹介

選挙区	氏名	選挙区	氏名	選挙区	氏名
広島市中区	林 正夫	呉市	奥原 信也	東広島市	高木 昭夫
広島市東区	緒方 直之	竹原市・豊田郡	森川 家忠	廿日市市	安井 裕典
	大島 昭彦	三原市・世羅郡	平田 修己		山下 智之
	畑石 顕司		上田 泰弘	安芸高田市	児玉 浩
広島市南区	中本 隆志	尾道市	高山 博州	江田島市	沖井 純
	窪田 泰久	福山市	宇田 伸	安芸郡	伊藤真由美
広島市西区	山木 靖雄		松岡 宏道		
広島市安佐南区	佐々木弘司		三好 良治		
	石橋林太郎	出原 昌直			
広島市安佐北区	山崎 正博	三次市	下森 宏昭		
広島市佐伯区	富永 健三	庄原市	小林 秀矩		
	宮崎 康則	大竹市	狭戸尾 浩		

平成27年4月から、
この30名で活動しています！

平成30年7月豪雨災害に対する会派の主な動き



我が会派は、7月3日から8日にかけての一連の豪雨により発生した戦後最大級の大災害に対し、責任ある最大会派として、県議会内をまとめ、迅速な対応に努めてまいりました。今後とも、被災者の皆様が一日も早く普段の平穏な生活に戻っていただけるよう、県執行部とともに、災害箇所の復旧や被災者の生活支援、経済活動の復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

五会派による緊急要望・臨時会の開催

主要四会派に呼び掛け、7月9日の午後には、「大雨による災害に対する緊急要望書」を県知事宛てに提出。発災から1か月を待たずに、災害復旧・復興の予算を審議する臨時会の開催に結び付けました。

【緊急要望の主な内容】

- ① 早急に被害の実態を把握し、所要の措置を講じ、地域住民の声に耳を傾け、きめ細かな対応を図ること。
- ② 復旧工事を早期かつ確実に進め、再発防止策を確実に講じ、県民の安全・安心の確保に努めること。
- ③ 県民生活の再建及び集落機能の復興に向けた、きめ細かな支援を行うこと。
- ④ 予測困難な局地的豪雨による災害に対し、ソフト・ハード両面においてより一層の対策を講じること。

現地踏査等の実施・知事への提言

各議員が地元被災地域の踏査により得た情報を、県執行部に提供。応急・復旧の対応方針を確認し、地域の関係者に説明しました。

また、県知事に対し9月補正予算編成に向けた提言をしました。

【提言の主な内容】

- ① 二次災害防止対策、社会インフラ強化の推進
- ② 交通網の正常化、観光産業や中小企業等の復興支援
- ③ 農林水産業の生産活動の再開に向けた支援、離農防止対策
- ④ 避難所にもなる学校への冷暖房等の完備



伊藤 政調会幹事 高木 政調会長 中本 会長 小林 幹事長 狭戸尾 政調副会長

常任委員会による現地調査

8月29日の総務委員会の現地調査を皮切りに、応急・復旧活動等に十分配慮した上で、各常任委員会において被災地域等を視察。被災地域の課題等を把握し、補正予算の編成につなげました。

【現地調査の主な概要】

- ◇ 総務委員会：県内バス事業者の復旧状況、呉地域の被災後の交通対策
- ◇ 農林水産委員会：ため池・治山ダム、農地等の被災状況
- ◇ 建設委員会：道路や河川の水道施設の被災状況、応急仮設団地の建設状況
- ◇ 文教委員会：学校の被災状況、通学手段の確保状況
- ◇ 警察・商工労働委員会：企業の被災状況、被災後の観光客数の動向



自由民主党広島県議会議員連盟 (自民議連)



復旧・復興を加速し、安心して暮らせる社会をめざします

ごあいさつ

はじめに、本年7月の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々に、衷心より哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

先般の8月臨時会及び9月定例会で可決した補正予算では、7月豪雨災害による応急対策や被災者の方々への生活支援、被災した道路・河川や農地、学校など公共施設の復旧、さらには、今後の被害拡大を防止するなど災害関連の取り組みを全力で推進することとしました。

今後とも、災害に強いまちづくりを強力に進め、安心して暮らせる広島県を全国にしっかりアピールできるよう取り組んでまいります。

さて、平成24年の第二次安倍内閣発足以来、5年間で名目GDPが11%以上成長し、景気拡大の期間が戦後最長に迫るなど、アベノミクスの成果が着実に現れております。本県の景気も設備投資が増加し、雇用・所得環境が着実に改善するなど、緩やかに拡大を続けております。

一方で、平成の時代が幕を開けた頃、子供の出生数は124万人を超えていましたが、昨年は約94万人と、この30年の間に約30万人も減少し、少子高齢化が加速したことで、人手不足が深刻化するなどの課題が顕在化してきました。平成の時代は間もなく幕を下ろしますが、私たち自民議連30名の議員は、こうした現状や課題をしっかりと捉え、今後とも皆様の声を県政に届けるとともに、広島の未来が活力と希望に満ちた明るい時代になるよう、共に全力を尽くしてまいります。

引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

自民議連 会長 中本隆志

ご意見・ご要望をお寄せください

発行所 広島県議会 自民議連 〒730-0011 広島市中区基町 10-52
TEL 082-513-4630 FAX 082-228-6587